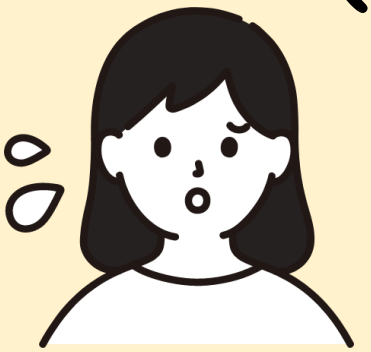
海外渡航をする人へ

麻しん

（はしか）



要注意！

国内で麻しん(はしか)患者の発生が相次いでいます。

海外で感染した患者や
海外からの旅行者を契機とした
国内での感染拡大がみられています。

麻しんとは

主な症状

感染してから約10日後に、高熱、全身の発しん、咳、鼻水、目の充血などの症状があらわれ、重い脳症を発症することもあります。

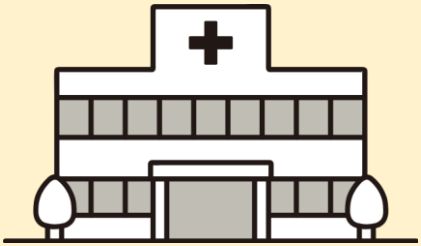
感染経路

空気感染、飛沫感染、接触感染でヒトからヒトへうつり、感染力は非常に強いです。

最も有効な予防法は

予防接種です。

麻しんにかかったことが明らかではない場合、渡航前に予防接種歴を確認してください。
２回接種していない場合は予防接種を検討してください。



帰国後、2週間以内に、麻しんが疑われる症状が見られた場合は、医療機関に「渡航歴があること」「麻しんの可能性があること」を事前に電話で伝え、指示に従い、受診してください。

医療機関へ出向く際は、マスクを着用し、公共交通機関の利用をできる限りさけてください。